

広川町の学校教育

町内の小中学校の現状

下広川小学校と広川中学校

先月号と今月号で、広川町の各学校の目標・取り組みなどを紹介します。

下広川小学校

下広川小学校は町内で最も早く、およそ140年前に創設されました。現在は木の香り漂う新校舎で、250人の児童が学んでいます。

昨年度から引き続き、「進んで発表・考えて挨拶・元気に外遊び」を合言葉に、全職員が教育に取り組んでいます。本年度は10月13日(土)に「ふれあい活動」、11月1日(木)に「食育教育研究発表会」、11月5日(月)から2週間は「広川町教育週間」を予定しています。ぜひご来校いただき、新校舎や子どもたちの様子をご覧ください。

これからも学校と家庭、地域が一体となり、子どもたちの健やかな成長を目指します。今後ともご協力・ご支援をよろしく願います。

学校教育目標

夢や希望をもち、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成

重点目標

自ら考え、ともに学びを深める
子どもの育成

重点目標達成に向け、

「チーム広川」で頑張ります

推進部組織の機能化

学力向上推進部

- 校内研修の充実
- 家庭教育の充実

心の教育推進部

- あいさつの充実
- 人間関係の醸成

体力向上推進部

- 体育指導の充実
- 外遊びの励行



- ①春季大運動会
- ②地域の皆さんとの芋苗植え
- ③校章



福岡県給食指定研究を受けた「食育」の学習（ふれあい給食）

児童数

(8月1日現在)

校長 堤健治

教頭 安達幸子
(職員数 25人)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
児童数	42	39	56	33	39	37	4	250
学級数	2	2	2	1	2	2	2	13



下広オリンピック



授業研究会

問 教育委員会事務局

学校教育係

☎ 0943・332・0099
(内線262、263)

広川中学校

広川中学校は今年4月、生徒数506人、16学級でスタートを切りました。

5月の体育大会は、多くの皆さまにご参観いただき、大変盛り上がったものとなりました。放送音量などでご協力いただいた地域の皆さまには、感謝を申し上げます。

部活動には全生徒の約90・5パーセントが所属し、毎日熱心に活動しています。昨年度の中体連八女地区大会・筑後地区大会は11種目で優勝、今年度は陸上部が女子総合優勝、相撲部が準優勝となりました。そのほかの部でも、上位大会への進出が期待されています。

10月19日(金)には、文化発表会とリサイクルバザーを行う予定です。皆さまのご来校をお待ちしています。

保護者や地域の皆さまには、あいさつ運動や交通指導、見守りなど、日ごろから多くのご支援をいただき、誠にありがとうございます。今後ともご協力・ご支援をよろしくお願いします。

学校教育目標

未来に展望を持ち、自らの生き方をたくましく切り拓く生徒の育成

重点目標

自分の考えを持ち、表現する力を持った生徒の育成

- 重点1 表現力
- 重点2 社会力
- 重点3 鍛錬力



- ① 職場体験学習 ② PTA主催人権講演会 ③ 文化発表会(全校合唱)
- ④ 道徳の授業

こんな生徒の育成を目指します
誇れる広中へ、進んで学習・進んであいさつ・進んで部活

進んで学習

確かな学力の向上

重点1 自分の考えを持ち、伝える力を持った子どもの育成

- 「主体的」「対話的」で「深い学び」がある授業づくり
- 共に認め合い、共に高め合って伸びる教育
- 教科学習と連携した家庭学習の充実(タイムマネジメント力)

進んであいさつ 豊かな心の育成

重点2 社会で通用するあいさつができる子どもの育成

- 体験活動と道徳教育を関連させた「心の教育」の推進
- 自立した子どもを育成するためのキャリア教育の充実
- 系統的な体験活動の実施
- 体験したことを「伝える」活動の充実
- 繋がる人間関係の醸成と支持的風土を持った学級づくり
- 実践力を養う人権学習の実施

進んで部活 健やかな体の育成

重点3 健康的な食習慣を身に付けた子どもの育成

- 体育の授業や部活動を通して体力向上の推進
- 不登校生徒を生まない取り組み
- 食育の推進



体育大会のシンボルフラッグ

校長 山口浩史 教頭 下川泰伸 (職員数 49人)

生徒数

(8月1日現在)

学年	1年	2年	3年	特別支援級	合計
生徒数	158	170	169	9	506
学級数	4	5	5	2	16